

どう考えますか？嵐山町議会。

「障害のある方たちの移動を支援する法制度を作ってください」の意見書否決。



- 身体にハンディがある方の移動支援の対応が遅れています。
- 障害者手帳の方は電車・バスは半額料金です。事業者が残りの半額を負担しています。
- 障害者手帳を持っている方は福祉有償運送の事業者を利用する場合、タクシー料金の概ね半額で利用できます。事業者負担が大きく経営困難です
- 障害者手帳をお持ちの方、介護保険要介護の方などの身体に支障がある方の移動は、公共交通、ドアツードアの移動の安全確保、財政支援する法制度が必要です。

障害者等の移動の支援の法制度を求める意見書提出の賛否	
青柳賢治	✕
狛守勝久	✕
大野敏行	✕
川口浩史	○
小林智	✕
渋谷登美子	○
長島邦夫	○
畠山みゆき	✕
藤野和美	○
松本美子	✕
森一人	議長

■ 6月議会で『「介護保険の要介護・要支援の人、障害者手帳を持っている人の移動の支援の法制度を作ってください」という意見書を国に提出してください』という請願がありました。請願は文教厚生委員会で審査をしました。文教厚生委員会では、請願者の意見はわかるが、国に意見書は出さないと結論。議会も賛成多数で国には意見書を提出しない結論。

■ 緊急動議として、議員提出議案で意見書案を提出しました。

緊急動議提出者（私）への質疑

質問 小林議員 委員会で審議したが委員会では意見書を提出しないことになった。

委員会・議会の結論に反して、意見書を出す緊急性があるのか（要旨）

答弁 渋谷 議員の一部に緊急性がなくても、請願した人と私には緊急性がある。

発言 畠山議員 「5年前に病気で埼玉医大にはタクシーでは高額で行けない人がいた。

このようなことの解決が意見書案にないので賛成しない。」（要旨）

■ 右表の通り意見書提出は不採択。私の説明力不足と議員の現状把握力の弱さが原因です

議会の多様性を模索する会

■ 近隣の女性議員で「議会の多様性を模索する会」を作りました。地方議会のいじめに対抗します。

■ 地方議会で政党に所属しない議員に対し多数派による辞職勧告決議が続いています。

3年前、田中まどか日高市議への辞職勧告に抗議することからスタートしました。

■ 議会は多数決によって独自のルールを決めてルールに反するとし辞職勧告を議決します。

■ 人権侵害の一つです。被害ダメージは大きい。会派制の議会は多数決重視で少数を否定します

—市川房枝さんに続きます—

♠ 日本の男女平等度指数は低下を続け、2023年は146カ国中125位、政治分野は138位と最低ランク。

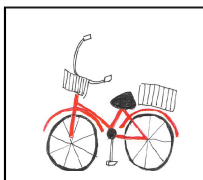
女性議員が少ないことが1番の理由です・・・

♥ おじさん政治には「政治に女は口出しするな」意識が強く反映されます。町立幼稚園3年保育の運動は、32年前から始まりましたが、男性たちに現実的な幼児教育のイメージがなく、やっと今年実現しました。

◆ 女性選挙権は市川房枝さんたちが、戦前から獲得のために活動し実現しました。

「平等なくして平和なし、平和なくして平等なし」

♣ 私は市川さんに続きます。平和と平等の実現を。



渋谷とみ子
〒355-0227 埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46
電話 0493-62-7997
[Eメール shibuyatomiko@gmail.com](mailto:shibuyatomiko@gmail.com)
<https://tom-shibuya.com>

